

九州農政局管内の土地改良区における女性活躍事例（三養基土地改良区）

— 女性理事があたりまえの世の中に —（土地改良区組合員からの女性理事登用事例）

三養基土地改良区について

所在地：佐賀県三養基郡みやき町
面積：2,049ha 組合員：2,865人
総代：64人
理事：18人（うち女性2人）
監事：3人（うち女性0人）
職員：3人（うち女性1人）
（令和6年4月時点）



（下段・左）：城野理事
（下段・右）：平野理事長
（上段・右）：城野事務局長
（上段・左）：寺田事務局長

城野 美喜子理事 プロフィール

- ・理事就任の時期：令和6年4月21日から
- ・主な経歴：なし
- ・普段のお仕事：介護士



女性理事へのインタビュー

Q. 理事に就任された経緯について教えてください。

A. 農家であった父の土地を相続して親戚の方に貸しており、私自身は介護の仕事をしています。土地改良区については賦課金を払っていた程度で組織についてはよく知りませんでしたが、同級生である事務局長から女性理事就任の依頼があり、男女共同参画にも興味があったので引き受けました。

Q. 実際に理事に就任して感じたことを教えてください。

A. 理事となって日が浅く、わからないことばかりです。世間では女性参画が当たり前となってきており、土地改良区の運営も女性が参加することが当たり前の世の中になってくれればと思います。

Q. 現在の理事としての職務内容を教えてください。

A. 会計担当理事として、もう一人の会計担当理事と協力し伝票のチェックなどを行っています。理事会でもしっかりと意見できるように、土地改良区のことについてこれから学んでいこうと思っています。

理事長・事務局へのインタビュー

Q. 女性理事登用に際して苦勞されたことはありましたか？

A. 前々から第五次男女共同参画基本計画の話を聞いて準備をしており、理事長はじめ他の理事も女性理事登用に理解があったため、特段苦勞はなかった。

Q. 今後、女性理事に期待していることは何ですか？

A. 土地改良区という分野は男性主導で運営されてきた。また、男性の目だけでは見えない問題がある。そこで、女性ならではの切り口から意見や疑問を出してもらうことを期待している。